



**鹿児島県遊技業協同組合**  
「ご当地アイドルグループ『サザン☆クロス』を  
支援・活用した社会貢献活動の推進及び  
組合の社会貢献活動の広報」事業



鹿児島県遊技業協同組合  
理事長  
西川明寛さん



「子ども車内放置事故未然防止一斉パトロール」に参加

**ご当地アイドルを活用することで  
ソフトで効果的な広報を実現**

組合の活動を効果的に周知する方策を検討

日頃、地道に積み重ねている社会貢献活動を広く地域の方々には知っていただくにはどうしたらいいかという課題は、都府県方面、支部組合、組合員ホールを問わず、共通するものといえるだろう。遊技業界の社会的な地位向上とも関連する課題だけに、さまざまな工夫が求められるが、ユニークな試みとして注目されるのが、鹿児島県遊技業協同組合(以下、鹿遊協)が実施した、ご当地アイドルグループ「サザン☆クロス」を活用した社会貢献活動の推進・広報である。

サザン☆クロスは、2011年4月に結成された鹿児島県のご当地女性アイドルグループで、鹿児島市に拠点を置いて定期的にライブを行うほか、商店街や自治体のイベントなどに出演し、観光親善大使のような役割を果たしている。鹿遊協では、鹿児島県出身である彼女たちの活動を支援すると共に、鹿遊協が主体となって実施・参加する防犯などの生活安全、交通事故防止、子ども車内放置事故未然防止、社会福祉施設訪問などさまざまなイベントやキャンペーンに彼女たちを招き、一緒に社会貢献活動を展開することで、遊技客をはじめ、広く県民一般に組合の活動を知ってもらうことを目指したという。

「当組合では、これまでも傘下の支部組合、ホールなどと一丸となって、さまざまな地域貢献、社会貢献を行ってきましたが、それが県民の皆様には知られていないというジレンマがありました。そうした活動はもとよりそれに取り組んでいるのがパチンコ・パチスロの遊技業界であることを効果的に周知する方策として、青年部からの発案により、彼女たちを活用することになりました」と語るのは、鹿遊協専務理事の岡田陽一さん。

**ご当地アイドルと共に社会貢献活動を展開**

鹿遊協では、2012年5月に同グループの肖像権使用などの契約を結び、彼女たちの写真と社会貢献をはじめとする組合の活動や取り組みを掲載したポスター(520枚)、のぼり旗(1050本)、ポケットティッシュ(10万個)を



ご当地アイドルグループを活用することで、県民の間で組合の活動に対する認知度が向上している



一緒に社会貢献活動を推進することで、遊技客をはじめ、県民に組合の活動を知ってもらうことを目指している

**当店は  
鹿児島県遊技業協同組合に加盟しています。**

鹿児島県遊技業協同組合は、次のような事業を行っており、お客様が安全に安心して遊技できる環境づくりに努めています。

- 1 健全営業の推進**  
ゴト・不正事業防止のための研修等による健全な経営、子供の車内放置事故の防止のためのパトロール、真摯な接客の徹底など
- 2 遊技人口の回復**  
店舗で楽しむ遊技の楽しさを、自宅でも楽しむ遊技の楽しさを、知ってもらうための取り組み
- 3 社会とともにある業界づくり**  
福祉施設の訪問、児童養護施設への訪問、防災訓練(119番への通報)など社会貢献活動、電力供給の確保、お客様の安全確保のための対応力の向上、消費電力の削減など
- 4 高コスト体質からの脱却**  
平日平日営業の推進、廃業の防止に向けた取り組み



彼女たちの写真と組合の活動や取り組みを掲載したポスターとポケットティッシュ

製作し、組合加盟の全ホールに掲示し、また防犯大会や交通安全パレードなどの参加者や市民に配布した。また、5月に開催した鹿遊協の通常総会において、サザン☆クロスを出演させ、彼女たちと組合が一緒になって社会貢献活動を推進するという趣旨の発表を行ったところ、地元新聞の「南日本新聞」が取材し、翌日の朝刊でカラー写真入りの記事が掲載された。

このほかにも、鹿児島市内の全ホールが実施した「子ども車内放置事故未然防止一斉パトロール」、「交通安全 オータムコンサート」、「チャリティゴルフ大会」や鹿児島市遊技事業組合が企画・実施した「青パト電車『生活安全号』」の出発式(P88～P89参照)などに彼女たちを出演させ、鹿遊協の社会貢献活動の広報を行ったが、その都度、新聞やテレビなどのマスコミ関係者が取材に訪れ、

報道されることで、徐々にではあるが、組合の活動に対する認知度が向上しているという。

「ポスターを目にしたお客様やポケットティッシュを手にした市民から、サザン☆クロスを活用したソフトなイメージの広報は、これまでの遊技業界にないものだということお誉めの言葉もいただいています。また、県警や行政が主催する各種イベントに、私たちの組合が参加する場合も組合の活動の一環として彼女たちを出演させることによって、市民の参加率や注目度が上がるということで、高い評価を得ています。彼女たち自身も、福祉施設などの訪問を通じて社会的に有意義な活動に参加できていることに喜びや満足感を感じているようです」と、岡田専務理事。ご当地アイドルを支援・活用した組合の広報を、2013年度も継続する予定だという。